

重衡しげひらの塚つか日野村茶園の中にあり。〔三位中ちゆうじやうしげひら将重衡卿、治承四年南都東大寺とうだいじを兵火のために焼失し給ふを、大衆恨で平家滅亡の後、重衡卿しげひらを鎌倉かまくらよりこひうけ、木津川きづがはにおいて誅す。重衡卿しげひらの北の方大納言だいなごんすけ佐局つほね、此日野ひのにおはせしが、骸むくろを東大寺ひじりしゆんじやうの聖俊乗坊しやうじゆんじやうより申うけて、ちかき法界寺はふかいじにて烟となし、骨かうやを高野へ送り、墓むらを此所に築しなり。くはしきは平家物語にあり〕